発注企業動向調査結果

-2016.10－

■調査時点　平成28年9月調査（平成28年9月末時点）

■対象企業　150社

■調査時期　4半期毎（3、6、9、12月末時点）

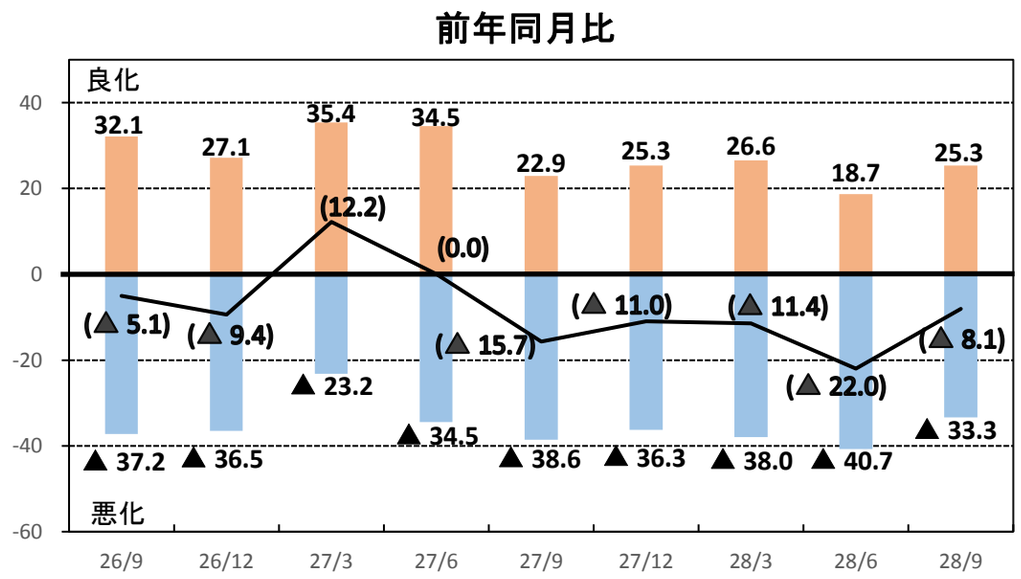
■回答企業　99社（回答率：66．00%）

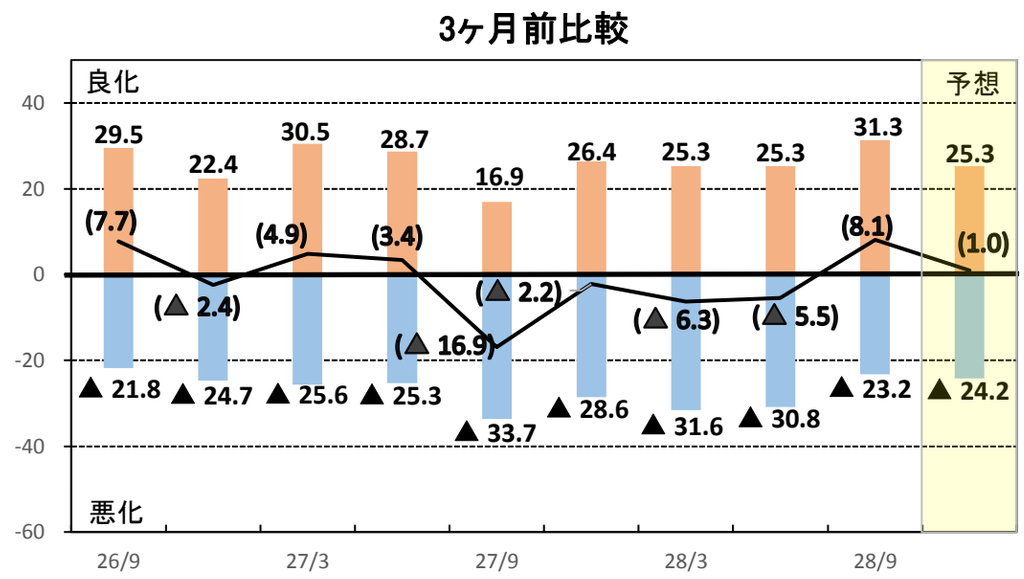
DI(Diffusion Index)とは、景気の動きをとらえるための指標であり、良化と回答した企業の割合から、悪化と回答した企業の割合を減じた数値です。

＜業種内訳＞

プラスチック	10社
鉄鋼・非鉄	10社
金属製品	11社
一般機械器具	16社
電気機器	23社
輸送用機器	17社
精密機器	5社
縫製	7社
計	99社

●生産高

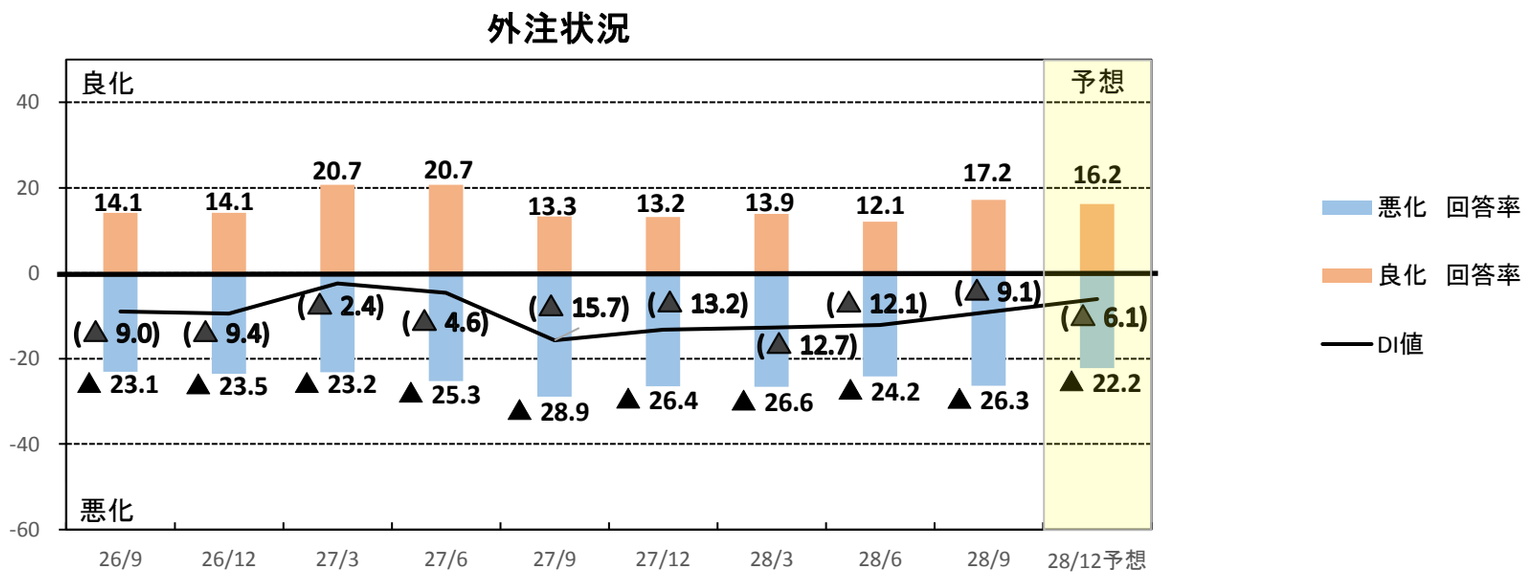




	26/9	26/12	27/3	27/6	27/9	27/12	28/3	28/6	28/9	28/12予想
前年同月比	▲ 5.1	▲ 9.4	12.2	0.0	▲ 15.7	▲ 11.0	▲ 11.4	▲ 22.0	▲ 8.1	
3ヶ月前比較	7.7	▲ 2.4	4.9	3.4	▲ 16.9	▲ 2.2	▲ 6.3	▲ 5.5	8.1	1.0

悪化　回答率
良化　回答率
DI値

●外注状況



	26/9	26/12	27/3	27/6	27/9	27/12	28/3	28/6	28/9	28/12予想
外注状況	▲ 9.0	▲ 9.4	▲ 2.4	▲ 4.6	▲ 15.7	▲ 13.2	▲ 12.7	▲ 12.1	▲ 9.1	▲ 6.1

●概要（総合）

・生産高（前年同月比）のDIは▲8.1で前回の▲22.0から13.9ポイント増で大幅良化となった。
・生産高（3ヶ月前比較）のDIは8.1で前回の▲5.5から13.6ポイント増で大幅良化となった。

・外注状況（3ヶ月前比較）は▲9.1で前回の▲12.1から3.0ポイント増で良化となった。

・3ヶ月後の予想DIは生産高が1.0で7.1ポイント減の悪化、
外注状況が▲6.1で3.0ポイント増の良化となった。

・全体的に回復傾向は見られるものの、継続する円高や人材不足、海外経済減速の長期化など、
企業にとって厳しい状況は続いているため、今後を不安視している企業は多い。